

土浦協同病院の緩和ケア
～その人らしく生きる～

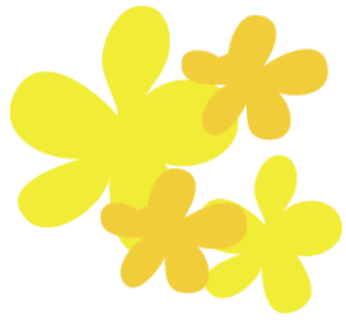


緩和ケア認定看護師
釜崎久美子



緩和ケアとは？

「緩和ケアとは、**生命を脅かす疾患**による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の**早期より痛み、身体的問題、心理・社会的問題、スピリチュアルな問題**に関してきちんとした評価をおこない、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、**クオリティー・オブ・ライフ**を改善するためのアプローチである。」

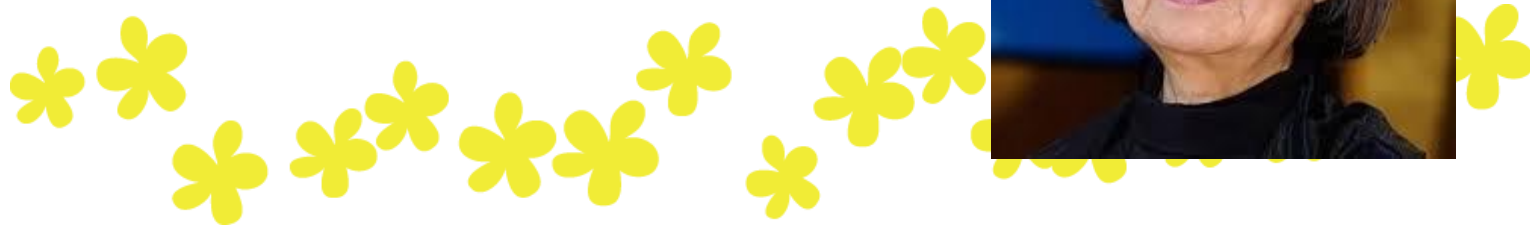


2人に1人が、がんの時代



日本のがん対策は、世界に比べて遅れている。がんは、万が二じやなく二分の一。がん対策を急ぐ。日本のがん対策を急ぐ。日本のがん対策を急ぐ。

日本のがん協会
AC JAPAN



全人的苦痛の評価

身体的苦痛

痛み 息苦しさ
だるさ
日常生活の支障

精神的苦痛

不安 うつ状態
恐れ いらだち
怒り 孤独感



社会的苦痛

仕事上の問題
人間関係
経済的な問題
家族内の問題

全人的苦痛

スピリチュアルペイン

人生の意味 罪の意識 苦しみの意味
死の恐怖 価値観の変化
死生観に対する悩み

がん医療による悪い知らせ

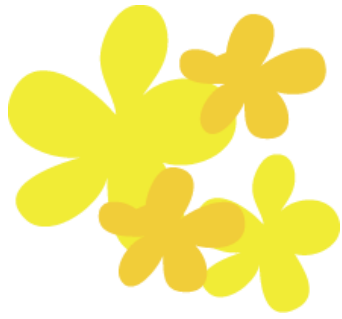
がんの再発・進行

抗がん剤治療の
中止

がんの診断・告知

終末期の
話し合い

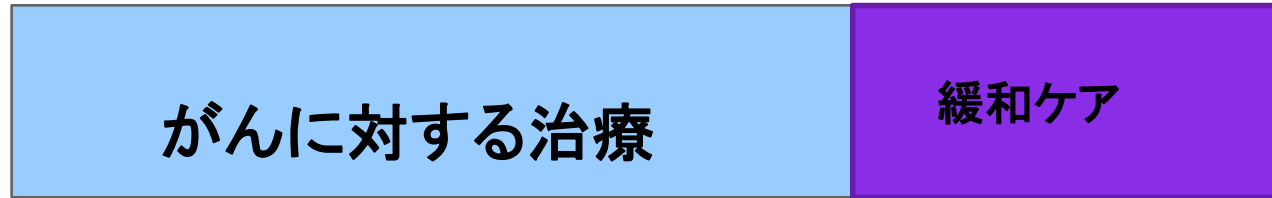




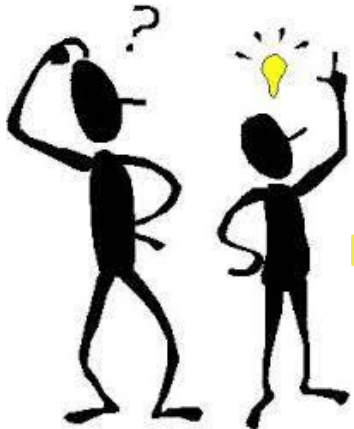
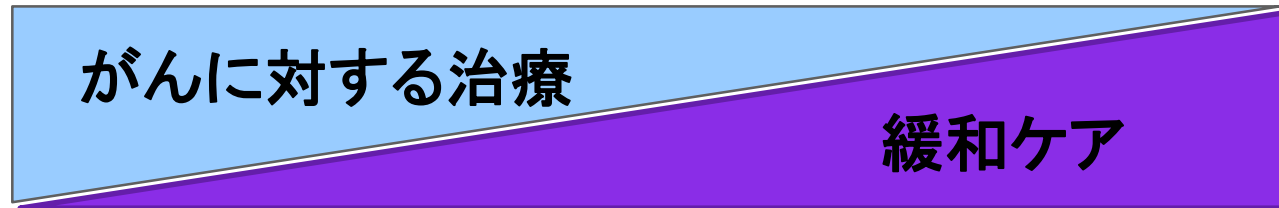
がんの治療と緩和ケアの関係



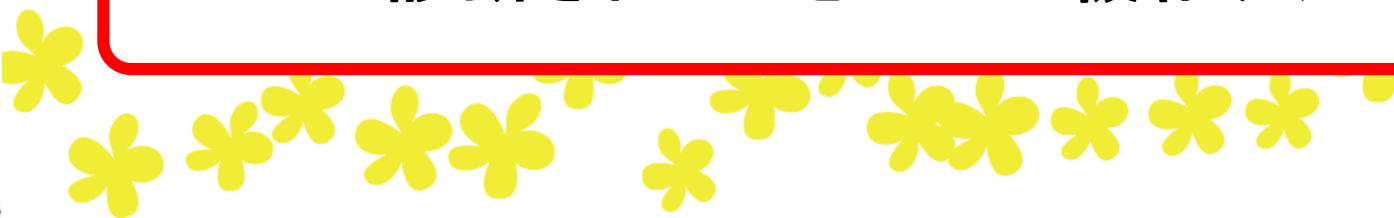
<これまでの
考え方>



<これからの
考え方>



がんと診断されたときからの緩和ケア



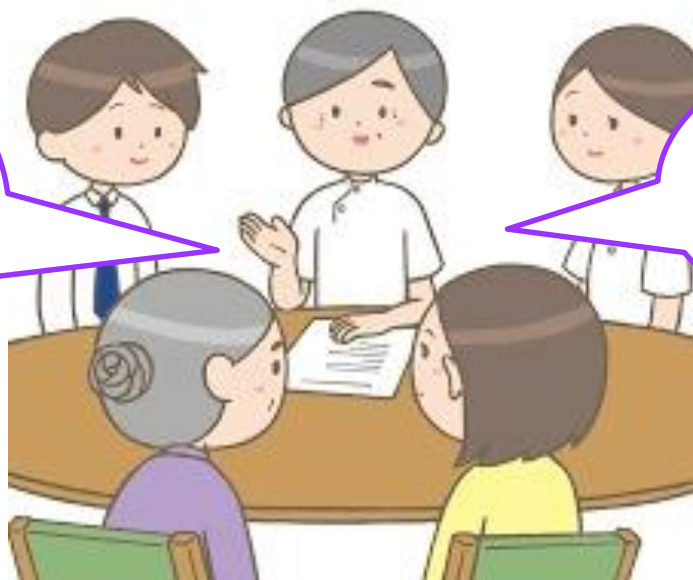
がんと診断されたときからの 緩和ケアの実践

- 1、あなたのつらさに耳を傾けます。
- 2、あなたに必要な情報を提供し、あなたと共にこれからの事を考えます。
- 3、身体や心など様々なつらさをやわらげます。
- 4、専門のスタッフが相談させていただきます。
- 5、治療や療養の場など、ご希望に沿うように相談させていただきます。



「人生会議」: アドバンス・ケア・プランニング

元気な時から皆で話し合って行きましょう。



人生最後の時をどこで、どのようにして過ごしたいですか？

もしもの時の話し合い

将来の意思決定能力の低下に備えて、今後の治療・療養について患者・家族・医療者とあらかじめ話し合うプロセスである。

ご家族へ

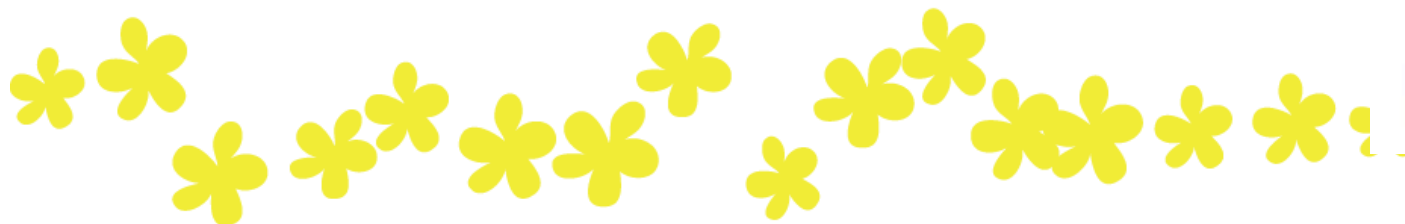


患者さんが、必要な時に十分な緩和ケアを受けるためには、緩和ケアに対する家族の正しい理解が大切です。

大切な家族が、その人らしく生活できるように、一緒に考えてみませんか？

また、**緩和ケアは患者さんだけでなく、家族に対しても行われるものです。**

患者さんを支える家族の辛さや不安、悩みもどうぞ相談して下さい。





皆で支える緩和ケア

がんになったとき、病気だけでなくいろいろな苦痛と闘わなければいけないとしたら…

痛みは、あなたの生きるエネルギーを奪います。

気持ちの落ち込みは、あなたの力を奪います。

希望が見えないことは、あなたを絶望の淵に追いやります。

がんになったとき、

からだや心の苦痛を和らげる治療やケアがあることを今回の研修で知ってください。

緩和ケアは治療を充実させる大切なケアです。

苦痛が緩和されれば、おだやかな時間を取り戻せます。

遠慮せず、勇気を出して、言って下さい。

「緩和ケアを受けたいです」と。



活力ある病院
信頼される病院
開かれた病院
を目指して

